

- ・大野市教育理念
明倫の心を重んじ
育てよう大野人
- ・第6次大野市総合計画
将来像
人がつながり 地域が
つながる
住み続けたい結のまち
- ・「こども」分野
未来を拓く大野っ子が
健やかに育つまち
- ・ふくいSDGsパートナー
- ・おおのSDGsパートナー

令和6年度 大野市有終東小学校

スクールプラン



教育目標

生活力のあるたくましい児童の育成

めざす児童像

ひとも自分も大事にする子

がんばりのきく元気な子

しんけんに学び深める子

研究主題

生きる力を培い

ともに学び合う児童をめざして

～ 自ら主体的に判断し 協働して学びを深める子の育成 ～

保護者の願い

- ・思いやりの心、進んで
行方親切、素直さ
- ・自他の生命の尊重
- ・気持ちのよい挨拶、
言葉遣い、態度
- ・挑戦する心、たくま
しい心と身体
- ・よく考えて行動する
節度ある生活

重点目標

◎の目標は、今年度、特に重点を置く。

学び深める力

- ◎自ら学ぼうとする態度を養い、協働して問題解決を図る力を育成する。
- 漢字・計算・語彙力の育成を図り学習の基盤となる基礎学力を定着させる。
- 五感に働きかける体験的学びを重視し、感性を通して豊かな能力を育てる。

自他を大事にする心

- ◎自他の違いを認め、相手を尊重する心を育てる。
- ◎自己肯定感を高め、一人一人に自信を持たせる。
- 規範意識を高め、自ら判断し正しい行動をしようとする態度を育てる。
- 命の大切さに気付かせ、生命を尊重する気持ちを育てる。

不屈の精神・元気な体

- ◎夢や目標をもち、達成に向けて粘り強く取り組む態度を育てる。
- 健康に関心をもち、望ましい生活習慣を身につけようとする態度を育てる。
- 困難なことや失敗にも屈せず、挑戦しようとする態度を育てる。

家庭・地域とつながる学校

- ◎教師一人一人の指導力向上、地域と共につくる学校を目指し、保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。
- 地域の教育力を活用した特色ある教育活動を通して、ふるさとを大切に、持続可能な社会の実現に貢献しようとする心を育てる。
- 教育機関、施設、各種団体との連携を図り、教育効果を高める。

今年度の具体的な取り組み

- ①「ゴールー振り返り」をセットにした授業づくりを進め、児童が自ら学ぼうとする意欲を高める。
- ①相手の話を受容的に聴き、対話を通して課題解決に向かおうとする児童を育てる。
- ②アップタイムなどを通して、漢字・計算・語彙力の育成に重点を置いた基礎学力の定着に取り組み、「力がついた」とする児童の評価を90%以上（R5,90%）にする。
- ③読書習慣の確立を図る。また、図書環境を整備するとともに、読み聞かせなどを通して、「読書が楽しい」とする児童の評価を85%以上（R5,79%）にする。
- ③ICT機器の効果的活用を図るとともに、体験的学びを重視し、五感を通し学び深められるよう工夫する。

- ①教師自らが人権意識を高くもち、思いやりの心を育てる活動や温かい人間関係を構築する活動を数多く取り入れる。
- ①いじめ、不登校の兆候を見逃さないように、アンケートや観察など児童の変調を確実に把握し、面談などを実施し、早期発見・丁寧な対応を行う。
- ②絆づくりを意識した集団指導や教師の声かけを通して、自己有用感を高め、「自分の良いところを見つけている」という児童の評価を80%以上（R5,74%）にする。
- ③「東っ子の約束」に対して保護者の理解が得られるよう工夫を加え、家庭との連携を進め、「東っ子のあいさつ」を実践できた児童を90%以上（R5,85%）にする。
- ③「インターネットルール」を守るよう働きかけたり、情報モラルに関する授業を行ったりして、有効かつ安全に情報機器を利用しようとする態度を養う。
- ④道徳や各教科の学習において、命の尊さに気付かせ、生命を尊重しようとする心情や態度を育てる。

- ①様々な体験を通して、夢や目標をもち、その実現に向けて主体的に行動する場を工夫する。
- ①児童の努力や成果を教師が評価したり、児童同士が互いに励ましたり助言したりする場を工夫する。
- ②家庭と連携し、「健康によいことを進んでしている」とする児童の評価を90%以上（R5,87%）にする。
- ③進んで挑戦したくなるような環境作りを工夫し、「進んで挑戦した」とする児童の評価を90%以上（R5,88%）にする。
- ③様々な体育的行事等を通して、粘り強く、最後まであきらめずに取り組もうとする態度を育てる。

- ①保護者への対応を丁寧かつ誠実に行ったり、各種の「たより」を工夫したりして、「学校が信頼できる」とする保護者の評価を90%以上（R5,96%）にする。
- ②市や県の施設・団体を活用した学習を実施し、地域学習を充実させ、「ふるさとの良さを見つめられた。」とする児童の評価を90%以上（R5,90%）にする。
- ③特別な支援を必要とする児童に対して各種機関と積極的な連携を図る。
- ③交流学習等のあり方を工夫・改善し、幼小中の連携を推進する。
- ③教職員の専門性を生かしたり外部講師を活用したりして、現職教育を行う。

〈業務改善のための取組〉

・学校行事や授業時数の精選

・退庁時刻の設定

・報告、連絡、相談に基づくスピード感のある対応

・職員会議の効率化（資料はPC上）

・市や各種団体行事参加方法の見直し

・会議での決定事項伝達や事務的諸連絡の効率化（PCの朝連絡にて行う）

・ICTの活用